

# 代表挨拶

## 政治をもっと身近に

2月15日、市民ネットワークちば第24定期総会を開きました。市議会での代理人活動を支えるとともに、地域での活動を通して市民目線で調査や提案をし、2015年4月の統一地方選挙に向けて準備をしっかりと進めていくことを決めて、今年度の活動をスタートしました。

総会に引き続き、2年間にわたって行ってきた防災・避難所、街路樹、ごみ、市民事業の4つのプロジェクトの中間報告会をしました。コメントーターの関谷昇さん（千葉大学法経学部准教授）からは、「市民ネットワーク内部だけにとどまらず、他団体や市民と広く連携して、地域からの政策作りを進めることが大切」とアドバイスをいただきました。

市民ネットワークちばは、現在、美浜区と若葉区の市議2人の会派です。千葉市で活動を始めた20年以上前から、少数意見でも大切なことは取り上げて話し合う姿勢を貫いてきました。市民ネットワークのような存在はこれからも必要です。

また、国レベルでの問題についての活動も進めていきます。私たちの生活に大きく関わってくる特定秘密保護法の問題点と廃止に向けて、学習会



プロジェクト中間報告会の様子

を開催し理解を深め、脱原発や憲法を守る活動とあわせて取り組んでいきたいと考えています。

共同代表

山崎 邦子

# アンケートをお届けします！ 政策室より

市民ネットワークちばでは、2015年4月の統一地方選挙に向けて、政策集を作成中です。私たちの政策集の特長は、様々な立場の市民の意見を集め、市民が関わって内容をまとめていくこと。大事なことは市民が決める、という考え方は、1990年の設立以来変わらない方針です。

現在は皆さんから意見を集めるためのアンケートを作っています。子ども・若者・福祉・まちづくり・防災・環境・公施設・市民参加・就労などについての設問を考えています。

なるべくたくさんの方の声を集めて、千葉市へ市民目線の政策提言をしていきたい。それができるのは国政とのしがない、地域政党としての市民ネットワークの強みだと考えています。

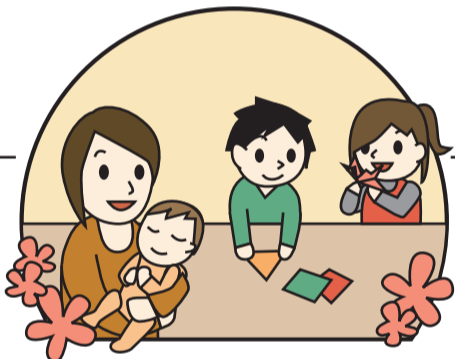
日々の生活の中にある課題を、言ってもしかたのないこととあきらめていませんか？地域からの声で解決につなげ、誰もが住みやすい千葉市にしていきましょう。アンケートがお手元に届いた際にはぜひご協力をお願いいたします。

共同代表 兼 政策室長

岩崎 明子



## 各区の課題



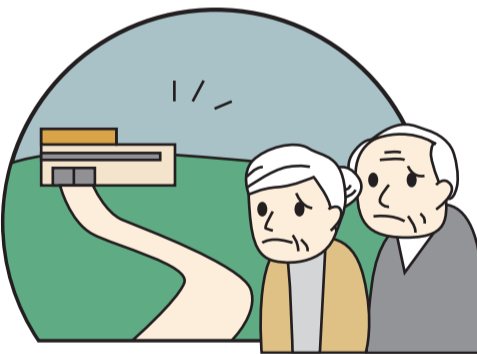
花見川

- ・子育て支援と、子どもの居場所づくり
- ・市民活動のネットワークづくり
- ・子どもを放射能からまもる活動
- ・買い物弱者への支援
- ・交通問題



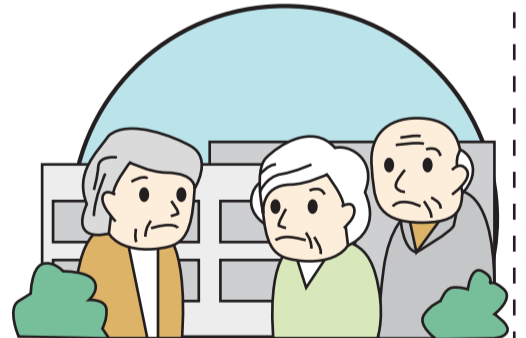
緑

- ・新興住宅地での住民のきずなづくり
- ・市民自治を支える仕組みづくり
- ・公共交通の充実
- ・緑の保護、整備（遊休農地・街路樹）



各区共通の課題

- ・高齢者福祉施設の不足



美浜

- ・中層住宅居住者の高齢化問題
- ・液状化対策（防災）
- ・外国人との共生



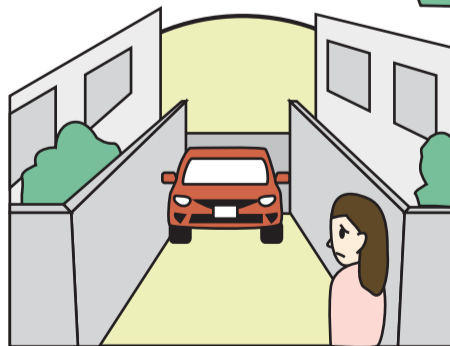
中央

- ・災害に強い避難所や地域のつながり
- ・地域の支え手の活動しやすい拠点
- ・駐輪場と自転車ルールの啓発
- ・千葉駅周辺の魅力とにぎわいづくり
- ・生活保護世帯の増加
- ・小中学校の適正配置



若葉

- ・交通不便地域がある
- ・ごみの不法投棄
- ・商店街の空洞化
- ・1km条例により宅地化が進み、緑地が減少
- ・千葉市でいちばん高齢化率が高い



稲毛

- ・大型マンション建設により、狭い道路の交通量が増加して危険
- ・新住民との交流不足や自治意識の低下
- ・自転車で安全に走れるまちづくりが必要
- ・区北東部などに交通不便地域がある